



平成 17 年 10 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社アドバンスト・メディア
代表者名 代表取締役社長 鈴木 清 幸
(コード番号：3773 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理本部長 安 齊 哲 夫
(TEL. 03-5958-1031)
URL <http://www.advanced-media.co.jp>

エムシーツー株式会社の株式取得（子会社化）及び 簡易株式交換による完全子会社化に関するお知らせ

当社は、平成 17 年 10 月 21 日開催の取締役会におきまして、エムシーツー株式会社（以下「MC2 社」）と資本提携を行い、発行済株式総数の 70%を取得し子会社化すること、及び残余の株式は簡易株式交換により MC2 社を完全子会社化することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

・ MC2 社の株式取得による子会社化

1. 株式取得による子会社化の目的

MC2 社は 200 ブースのコールセンター機能を有し、主にテレマーケティングによる商品・サービス等の販売業務を得意としており、特に前期（平成 17 年 7 月期）より売上・利益共急成長しております。

今回当社が MC2 社を子会社化する目的は、大きく分けて 3 つあると考えております。

当社は、「しゃべりが見える」ことによる新たな価値の創造を提案・実現し、ビジネスや日々の生活に密着した実用的な音声認識ソリューションを提供することを事業の目的とし、音声認識により市場を喚起し、市場規模を拡大することに取り組んでおります。近年の当社を取り巻く環境は、市場形成が本格化してきていることを示唆しており、今後市場構築を加速するためには、音声認識エンジンそのものの販売ではなく、音声認識を内包した企業向けの音声認識ソリューションを市場投入し、「役に立つ」、「便利」、「ありがたい」という音声（対話）対応サービスの普及に繋げるとともに、企業向けの音声認識ソリューションの開発・拡販を継続的に行うことが必要と考えております。そのためには、営業基盤の拡充が不可欠であり、今回 MC2 社を子会社化することで、機動的な営業戦力を確保することになると考えております。同社の主事業（電話を利用したアウトバウンド営業及び訪問外交）を当社の手離れする商品（電子カルテ、AmiReception、AmiVoice Dialer 等）の拡販に活用することで、営業力のボリューム拡大が図れます。

当社のこれからの事業基盤は「サービスビジネス」と考えております。MC2 社はテレマーケティングサービスにより、実際に現業としてこの「サービスビジネス」を行っている会社であり、この経験ノウハウは今後の当社の事業に活用できると考えております。

現業ビジネスの基盤強固のため、今後大きな柱となるものの一つが「コールセンター向け

のソリューション提供事業」であり、その商品力を高めるためには自社内にその実証実験、あるいは改良の場を持つことが必要でした。今回、実際にコールセンターを運営する MC2 社を子会社化することで、それを獲得したことになり、今後の当社商品開発に資すると考えております。

以上より、当社（グループ）の更なる成長及び経営基盤の拡大を実現するものと判断いたしました。

2. 株式を取得する会社の概要（平成 17 年 10 月 21 日現在）

- (1) 商号 エムシーツー株式会社
(2) 所在地 東京都中野区東中野四丁目 27 番 39 号（登記上）
東京都渋谷区代々木三丁目 25 番 3 号（実際の本社）
(3) 設立年月日 平成 12 年 9 月 7 日
(4) 主な事業内容 テレマーケティングサービス 他
(5) 決算期 7 月 31 日
(6) 従業員数 3 名（役員、アルバイト除き）
(7) 資本金 10,000 千円
(8) 代表者及び役員
代表取締役 河野 正
取締役 河野 和
取締役 河野 博子
監査役 河野 満
(9) 発行済株式総数 200 株
(10) 株主構成及び所有割合 河野 正 200 株（100%）
(11) 当社との関係
資本的關係 該当事項はありません。
人的關係 該当事項はありません。
取引關係 MC2 社は、株式会社アドバンスト・メディアの販売先の 1 社であります。

(12) 最近事業年度における業績の動向

（ 単 体 ）	平成 15 年 7 月期	平成 16 年 7 月期	平成 17 年 7 月期
売上高	668 百万円	1,038 百万円	2,862 百万円
営業利益	12 百万円	36 百万円	139 百万円
経常利益	20 百万円	18 百万円	167 百万円
当期純利益	3 百万円	8 百万円	70 百万円
総資産	247 百万円	324 百万円	1,098 百万円
負債	192 百万円	261 百万円	964 百万円
株主資本	55 百万円	63 百万円	134 百万円
1 株当たり配当金	-	-	-

（注）上記、いずれの数値も監査法人による監査を受けておりません。

3. 株式取得の方法について

- (1) 株式取得の相手先 河野 正
(2) 取得株式数 140 株（所有割合 70%）
(3) 取得日 平成 17 年 10 月 25 日
(4) 取得価額 1,274,000 千円

4. 株式取得の日程

平成 17 年 10 月 21 日	当社取締役会決議 (MC 2 社の株式取得の承認)
平成 17 年 10 月 24 日	株式譲渡契約書の締結
平成 17 年 10 月 25 日	株券取得日

上記の日程は、株式取得手続き進行上の必要性その他の事由により、両者間で協議の上変更することがあります。

5. 業績に与える影響

- ・ 4. (3) をご参照下さい。

・ 簡易株式交換による完全子会社化

1. 簡易株式交換による完全子会社化の目的

当社は、MC 2 社に対する経営責任を明確化し、経営意思決定のスピードを追求することにより、連結業績の早期拡大を目指して、MC 2 社の全株式を株式交換により取得し、完全子会社化するものであります。

2. 株式交換の条件等

(1) 株式交換の日程

平成 17 年 10 月 21 日	株式交換契約書承認取締役会
平成 17 年 10 月 24 日	株式交換契約書の締結
平成 17 年 10 月 25 日	株式交換契約書承認臨時株主総会 (MC 2 社)
平成 17 年 11 月 29 日	株式交換の日

上記の日程は、株式交換手続き進行上の必要性その他の事由により、両者間で協議の上変更することがあります。

なお、本株式交換は、商法第 358 条第 1 項に基づき簡易株式交換を利用するため、当社は株主総会における株式交換契約書の承認決議を予定しておりません。

(2) 株式交換比率

	当社 (完全親会社)	MC 2 社 (完全子会社)
株式交換比率	1	12.2

(注) 1. 株式の割当比率

MC 2 社の普通株式 1 株に対して、当社の普通株式 12.2 株を割当交付いたします。ただし、当社が既に保有する MC 2 社の普通株式 (140 株の予定) については、当社の普通株式を割当交付いたしません。

2. 株式交換比率の算定根拠

株式交換比率の算定は、第三者機関である鈴木会計事務所に依頼し、その算定結果を参考に、当事会社間において協議をした結果、上記のとおり合意しました。

3. 第三者機関による算定結果及び算定方法

鈴木会計事務所は、当社の企業評価については市場株価平均法により、MC 2 社については、類似会社比準方法による評価を行いました。

4. 株式交換に際して割当てる株式数

当社の普通株式 732 株を新株式により発行いたします。

(株券交付日 平成 17 年 11 月 29 日、配当起算日 平成 17 年 10 月 1 日)

(3) 株式交換交付金

株式交換交付金の支払いはありません。

3. 株式交換の当事会社の概要

(1) 商号	株式会社アドバンスト・メディア (完全親会社)	エムシーツー株式会社 (完全子会社)
(2) 事業内容	音声認識システム開発及び販売等	テレマーケティングサービス他
(3) 設立年月日	平成 9 年 12 月 10 日	平成 12 年 9 月 7 日
(4) 本店所在地	東京都豊島区東池袋 3-1-1	東京都中野区東中野 4-27-39
(5) 代表者	代表取締役 鈴木 清幸	代表取締役 河野 正
(6) 資本金	3,218 百万円 (平成 17 年 9 月 30 日現在)	10 百万円 (平成 17 年 9 月 30 日現在)
(7) 発行済株式総数	108,807 株 (平成 17 年 9 月 30 日現在)	200 株 (平成 17 年 9 月 30 日現在)
(8) 株主資本	2,053 百万円 (平成 17 年 3 月 31 日現在)	134 百万円 (平成 17 年 7 月 31 日現在)
(9) 総資産	2,834 百万円 (平成 17 年 3 月 31 日現在)	1,098 百万円 (平成 17 年 7 月 31 日現在)
(10) 決算期	3 月 31 日	7 月 31 日
(11) 従業員数	56 名 (平成 17 年 3 月 31 日現在)	3 名 (平成 17 年 7 月 31 日現在)
(12) 主要取引先	株式会社クレセント、ユナイテッド・ パワー株式会社他	日本テレコム株式会社、アルファゲ ループ株式会社他
(13) 大株主及び持株比率	鈴木 清幸 9.4% トヨタ自動車株式会社 9.2% (平成 17 年 9 月 30 日現在)	河野 正 100.0% (平成 17 年 9 月 30 日現在)
(14) 主要取引先銀行	株式会社東京三菱銀行、株式会社三井 住友銀行 他	株式会社りそな銀行、株式会社みず ほ銀行 他
(15) 当事会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	エムシーツー株式会社は、株式会社アドバンスト・メディアの 販売先の 1 社です。

(注) 数値は単体決算によるものです。

(16) 最近 3 決算期間の業績

(単体)	株式会社アドバンスト・メディア (完全親会社)			エムシーツー株式会社 (完全子会社)		
	15 年 3 月期	16 年 3 月期	17 年 3 月期	15 年 7 月期	16 年 7 月期	17 年 7 月期
売上高	451 百万円	887 百万円	1,498 百万円	668 百万円	1,038 百万円	2,862 百万円
営業利益	580 百万円	36 百万円	90 百万円	12 百万円	36 百万円	139 百万円
経常利益	592 百万円	26 百万円	70 百万円	20 百万円	18 百万円	167 百万円
当期純利益	652 百万円	23 百万円	68 百万円	3 百万円	8 百万円	70 百万円

1株当たり当期 純利益(円)	8,342円 40銭	281円 95銭	764円 38銭	16,745円 33銭	42,152円 79銭	352,871円 62銭
1株当たり年間 配当金(円)	-	-	-	-	-	-
1株当たり株主 資本(円)	13,045円 29銭	21,177円 85銭	22,938円 76銭	275,115円 48銭	317,268円 27銭	5,493,297円 70銭

4. 株式交換後の状況

(1) 商号、事業内容、本店所在地、代表者

当事会社各々の、商号、事業内容、代表者については、「3. 株式交換の当事会社の概要」に記載の内容から変更はありません。

なお MC 2 社の本店所在地については、今後変更の可能性があります。

(2) 当社の資本金

本株式交換による当社の資本金(3,218百万円)は増加いたしません。

(3) 業績に与える影響

当社グループとして業容拡大による連結業績の貢献を期待しております。

また、平成 18 年 3 月期通期業績予想につきましては、連結業績を含めた業績見通しの見直しを現在行っております。当社平成 18 年 3 月期中間決算発表時(11 月 14 日予定)に併せてお知らせする予定です。

以上